

学力・学習状況調査

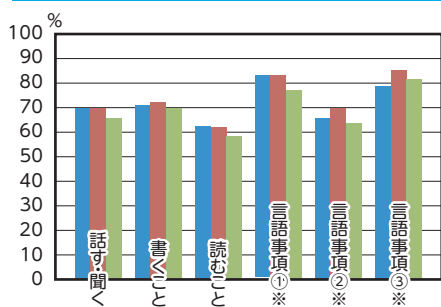


令 和7年4月17日に実施された全国学力・学習状況調査では、美郷町の小学6年生と中学3年生が国語・算数(数学)・理科の3教科に、それぞれ取り組みました。加えて、こどもたちの生活・学習習慣等を調べるための質問紙調査も行われましたので、結果の概要をお知らせします。

学習状況調査の概要

■ 美郷町 ■ 秋田県 ■ 全国

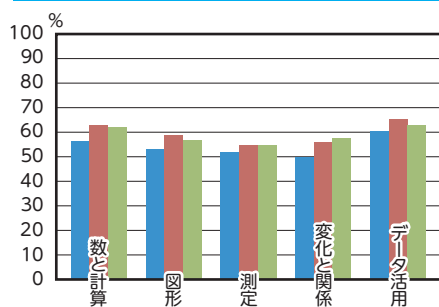
小学校 国語



六つの領域のうち三つで全国、秋田県の平均を上回りました。「書くこと」の領域については、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表す方を工夫する力を伸ばしていく必要があります。

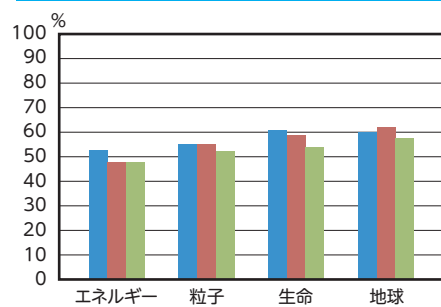
※言語事項 ①言語の特徴や使い方に関する事項 ②情報の扱いに関する事項 ③我が国の言語文化に関する事項

小学校 算数



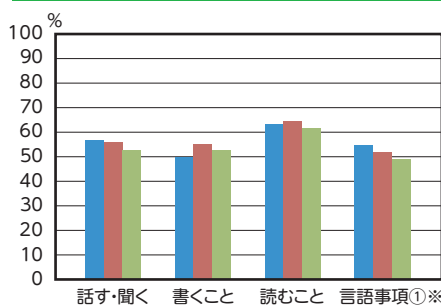
すべての領域で全国、秋田県の平均を下回る結果となりました。すべての領域で、学習した知識・技能を日常生活に戻し、その意味を考えるとといった「数学的な見方や考え方」をはたらかせる力を伸ばしていく必要があります。

小学校 理科



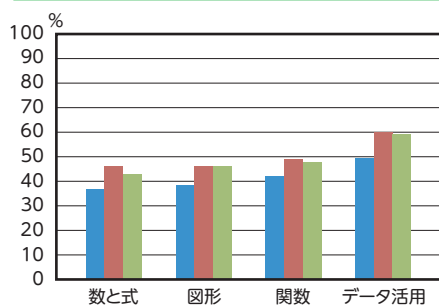
「地球」の領域で秋田県の平均を下回ったものの、他の領域ではすべて全国、秋田県の平均を上回りました。観察、実験などの結果をもとに考察する際に、表やグラフなどに整理する活動をして、結果を比較したり、複数の結果から多面的に考えたりして、自分の考えを表現できるようにする力を伸ばしていく必要があります。

中学校 国語



四つの領域のうち二つで全国、秋田県の平均を上回りました。「書くこと」の領域については、自分の考えが伝わる文章にするために、意見とそれを支える根拠を明確にして書くことが重要です。そのために、自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確かめる必要があります。

中学校 数学



すべての領域で全国、秋田県の平均を下回る結果となりました。「数と式」の領域については、素数の意味の理解に課題がありました。また、文字を用いた式の意味を読み取り、事柄の特徴を数学的に説明できるように力を伸ばしていく必要があります。

中学校 理科

■ 平均IRTスコア※

美郷町	秋田県	全国
495	516	503

全国、秋田県の基準をやや下回る結果となりました。科学的な探究の見通しをもつために、すぐに観察、実験を行うのではなく、個人やグループなどで「観察、実験の結果から何が分かればよいのか」について、確認して共有する必要があります。その際、比較したり、関係付けたりする対象を明確にして関係性を示したりするなど、適切に表現できるように言語活動の充実を図る必要があります。

※今年度の理科の調査はCBT(コンピュータ使用型調査)で行われ、生徒1人あたり、公開問題10問と非公開問題16問が出題されています。非公開問題は幅広い内容・難易度等から出題され、生徒ごとに異なる問題を解いているため、他教科のような調査結果を示すことができませんでした。そのため、平均IRTスコアを示しています。このスコアは、IRTに基づいて各設問の正誤パターンから学力を推定し、500を基準にした得点で表したものです。

IRTとは…児童生徒の正答・誤答が、問題の特性(難易度、測定精度)によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。

総評

各校では、結果をもとに自校の課題を分析し、課題克服に向けた対策に取り組んできております。また、今年度も秋田大学教授を講師に迎えての授業力向上研修や、指導主事訪問による研修を全学校で実施し、個に応じたきめ細かい指導について研修し、学校全体で授業改善の取組を推進しています。また、ICTを活用するなどして、1人1人に合った個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて取り組んでいるところです。今後も各校における現状と課題を明確にし、より一層の授業改善を図ることで、美郷町の子どもたちの可能性を十分に伸ばせるように努めていきます。

児童・生徒質問紙調査の結果概要

Ⅰ ①～② 地域や社会への関心

項目①②ともに小・中学校ともに秋田県の平均を上回る結果となりました。地域行事も再開され、行事に参加する児童生徒が増えている様子の表れと考えます。町では今年度も週1回、小学4年生以上の児童生徒全員に新聞を配布して読む活動を行うとともに、ふるさと・キャリア教育を通して、今後も地域や社会への関心を高める取組を推進していきます。

Ⅱ ③～④ 自分自身の捉え

中学校では項目③で秋田県の平均をやや下回りました。これからも各学校において自己有用感を育む活動や、児童生徒一人一人の自信や自己肯定感を育む取組を充実させるとともに、家庭との連携も大切にしながら取組を推進していきます。

Ⅲ ⑤～⑩ 授業に対する思い

小学校では全項目で秋田県の平均を上回りました。各学校では「友達との学び合い」や「学習の振り返り」を大切に授業を行っています。今後も研修の機会を設け、生徒の関心が高まっていくような授業改善に努めていきます。また、国語の学習への意欲も小・中学校ともに秋田県の平均を上回っており、小学生以上への新聞配布や「美郷百泉」による読書活動の取組の成果が表れてきていると考えます。今後も事業の継続や授業改善に努め、学習指導の充実を図っていきます。

Ⅳ ⑪～⑮ 家庭での生活・学習習慣

8割以上の児童生徒が規則正しい生活を心がけていることがわかります。睡眠不足は成長への影響や学習効率の低下が心配されます。毎日の生活の中に家庭学習の時間を設けるなど家庭学習の充実を図り、生活習慣の見直しを図る機会にしてほしいと考えています。

Ⅴ ⑯～⑲ 規範意識や道徳性

すべての項目で9割以上の児童生徒が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答する結果となりました。町では「小学6年生の交流会」や「コミュニケーション教室」を実施し、人と協力することや助け合うことのよさを実感できる機会を設けています。今後も児童生徒の規範意識や道徳性を高めることができるよう事業を継続するとともに、地域・家庭・学校がそれぞれの立場で規範を示し、温かく見守りながらこどもたちを育んでいきたいと思っています。

Ⅵ ⑳～㉓ ICTを活用した学習

1人1台端末が標準化となり、小・中学校ともに各教室への電子黒板も配置され、ICTが日常的に活用されていることがわかります。今後は、ICTをどのように活用し、学習や日常生活に活かしていけるかが大切になっていきます。

単位: %

質 問 の 内 容		小学校	県との差	中学校	県との差
Ⅰ	① 週に1回以上、新聞を読んでいる	15.5	2.8	20.9	11.7
	② 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	93.2	3.1	91.8	5.3
Ⅱ	③ 自分には、よいところがあると思う	95.2	5.5	89.1	-0.2
	④ 将来の夢や目標を持っている	90.3	1.8	81.9	7.1
Ⅲ	⑤ 学校に行くのが楽しい	97.1	8.2	86.3	-2.1
	⑥ 授業では課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んだ	92.2	7.0	88.2	3.9
	⑦ 自分の考えが伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した	79.6	9.2	66.4	3.0
	⑧ 国語の勉強が好きだ	73.8	5.0	90.9	19.5
	⑨ 算数(数学)の勉強が好きだ	69.9	6.8	50.0	-6.6
	⑩ 理科の勉強が好きだ	95.1	8.5	83.7	7.0
Ⅳ	⑪ 平日 小:1時間以上学習 中:2時間以上学習	54.4	-8.4	23.7	2.5
	⑫ 休日 小:2時間以上学習 中:3時間以上学習	19.4	-5.1	12.7	-1.6
	⑬ 朝食を毎日食べている	97.1	2.3	90.9	-3.6
	⑭ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている	88.4	4.4	84.5	0.0
	⑮ 毎日、同じくらいの時刻に起きている	94.2	1.9	91.8	-2.5
Ⅴ	⑯ 人が困っているときは、進んで助けている	93.2	-2.4	95.5	2.1
	⑰ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	99.1	1.0	99.1	1.8
	⑱ 人の役に立つ人間になりたいと思う	98.1	0.2	99.0	0.7
Ⅵ	⑲ 授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用した 週1以上	82.6	3.6	94.5	1.2
	⑳ ICT機器で文章を作成することができる	93.6	-1.5	93.6	5.7
	㉑ インターネットを使って情報を収集することができる	96.1	4.2	98.2	4.4
	㉒ ICT機器を使って情報を整理することができる	67.9	-3.0	67.2	0.2
	㉓ ICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができる	56.3	-18.2	64.5	-15.4